BENZ車故障診断アプリケーション
Version 1. 1

取扱説明書

ご利用の前に

- この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、製品と一緒に大切に保管してください。

警告

(1) 故障診断機本体から煙が出る、異臭がするなどの異常がある場合は、ただちに車両のイグニッションスイッチと診断機本体の電源をOFFにして、ダイアグケーブルを抜いてください。
※ 火災の原因となります。

注意

(1) 本アプリケーションは故障診断機専用です。販売元が認定する診断機以外の他メーカーの診断機には使用できません。
※ 診断機本体、アプリケーションソフトの故障の原因となります。
(2) 本アプリケーションはBENZ車専用です。他メーカーの車両には使用できません。
※ 他メーカーの車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。
(3) 車を修理する場合は、カーメーカー発行の整備マニュアルに基づき修理を行なってください。
(4) 販売元で認定している故障診断機用アプリケーションソフト以外のソフトやデータ類を、付属のCFカードにインストールしないでください。
※ 診断機本体の誤作動や故障の原因となります。
(5) 診断機本体にCFカードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
※ アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態でCFカードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。
(6) CFカードを抜いた状態で故障診断機を長時間、放置しないでください。
※ CFスロット(挿入口)を開放したままにすると、本体内部にホコリや水滴が入り、故障となる原因を誘引します。
(7) CFカードを水に濡らしたり、曲げたり、落としたり、衝撃を与えないでください。
※ 故障の原因となります。
(8) CFカードを挿入する時は、診断機に向きを合わせ挿入してください。
※ 向きを間違えると故障の原因となります。
(9) CFカードを分解、改造しないでください。
※ 故障の原因となります。
(10) CFカードのコネクタ部分または内部に異物を入れないでください。
※ 故障の原因となります。
(11) CFカードを直射日光のあたる場所、温度の高い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所に放置しないでください。
※ 故障の原因となります。
(12) CFカードのコネクタ端子に指で直接触れないでください。
※ 故障または接触不良の原因となります。
(13) ケーブルの抜き差しは、コネクタハウジングをつかんで行ってください。
※ ケーブルを直接引っ張ると断線の原因となります。

目　次

1　サポート範囲 1
1.1.　対象車種 1
1.2.　診断項目 2
1.3.　使用言語 2
2　準備 3
2.1.　接続 3
2.2.　各種設定 3
3　操作 4
3.1.　車両故障診断/点検メニュー 4
3.2.　BENZ車の故障診断メニュー 4
3.3.　テスト車種選択メニュー 5
3.4.　シャーシ 5
3.5.　製造年月日 5
3.6.　車種選択 6
3.7.　フューエルの種類選択 6
3.8.　車種選択 7
3.9.　システム選択メニュー 7
3.10.　制御ユニットを選択する 8
3.11.　故障診断メニュー 8
3.12.　ダイアグコードの点検 9
3.12.1.　ダイアグコードの点検 9
3.12.2.　ダイアグコードなし 9
3.12.3.　ダイアグコードのクリア 10
3.13.　現在のデータ表示／保存 12
3.13.1.　メッセージの表示 12
3.13.2.　テスト項目の選択 12
3.13.3.　現在のデータ表示／保存 13
3.13.4.　ランモード 14
3.13.5.　ホールドモード 15
3.13.6.　レンジ変更 16
3.13.7.　トリガ設定 17
3.13.8.　データ保存 18
3.14.　アクティブテスト機能 19
3.14.1.　アクティブテストメニュー 20
3.14.2.　テスト条件の表示 20
3.14.3.　操作メニューの選択 21
3.14.4.　テスト実行 22
3.15.　制御ユニットバージョン 23
3.16.　リセット機能 24
3.17.　作業サポート 26
3.17.1.　SBCシステムOFF 27
3.17.2.　SBCシステムON 30
3.17.2.1.　SBCシステムON正常 31
3.17.2.2.　SBCシステムON不正常 33

3.18. 保存データの表示 34
3.19. 画面保存データの表示 35
4 アクティブテスト項目一覧 36
4.1. ME-SFI-エンジン(ME-CGI) 36
4.2. ME-SFI-エンジン(ME-その他) 36
4.3. K-KLA - オートエアコン(シートエリア制御有) (211_VZK) 37
4.4. KLA - オートエアコン (211_KLA) 37
4.5. ME9.7エンジン (ME9.7-M272) 38
4.6. ME9.7エンジン (ME9.7-M273 (6気筒)) 38
4.7. ME9.7エンジン (ME9.7-M273 (8気筒)) 39
4.8. MED9.7エンジン 39
4.9. ME9.7(AMG)エンジン 40
4.10. MRM-エンジン制御ユニット (MSM2) 40
4.11. TAU - 自動温度調整装置(A168_TAU) 41
4.12. HAU - 暖房のみ(A168_HAU) 41
4.13. ME-SFI-エンジン(SIM266+SIM266RSG) 41
4.14. ME-SFI-エンジン(SIM4) 42
4.15. K-KLA - オートエアコン(シートエリア制御有)(203_KKLA) 43
4.16. KLA - オートエアコン(203_KLA) 44
4.17. HAU - 暖房のみ(203_HAU) 45
4.18. ME2-SFI-エンジン(ME2.0) 45
4.19. エアコン(KLA220) 46
4.20. ME-SFI2.7-エンジン 46
4.21. ME-SFI2.7.1-エンジン 47

1　サポート範囲

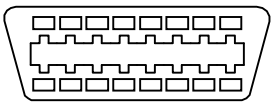
1.1.　対象車種

⑴診断可能条件

本アプリケーションは、下記に示すすべての条件を満たすBENZ車のコントロールユニットで故障診断を行なうことができます。

年代	CLASS	シャーシシリーズ
1997～2009年	A-CLASS	168シリーズ、169シリーズ
2006～2009燃	B-CLASS	245シリーズ
2001～2007年	C-CLASS	203シリーズ
2008年以降	CLC-CLASS	203シリーズ
2003～2009年	CLK-CLASS	209シリーズ
2003～2009年	E-CLASS	211シリーズ
2005～2009年	CLS-CLASS	219シリーズ
2000～2009年	S-CLASS	220シリーズ、221シリーズ
2000～2006年	CL-CLASS	215シリーズ、216シリーズ
2000～2009年	SLK-CLASS	170シリーズ、171シリーズ
2004～2009年	SLR-CLASS	199シリーズ
2002～2009年	SL-CLASS	230シリーズ
2006～2009年	M-CLASS	164シリーズ
2007～2009年	GL-CLASS	X164シリーズ

・国際標準規格の診断コネクタ(SAE J1962のコネクタ)を装備した車両。
・本アプリケーションが診断対象としているシステムで、かつKWP2000またはCANで故障診断通信を行うコントロールユニット。
・12Vバッテリを搭載する車両。



[国際標準規格診断コネクタ]

⑵診断不可条件

下記に該当する場合は診断ができません。
・BENZ車専用ダイアグノシスコネクタを装備した車両。
・24Vあるいはそれ以上のバッテリを搭載する車両。
・KWP2000またはCANで故障診断通信を行わないコントロールユニット。
（例）2002年以前の203と220シリーズのうち、トランスミッションにおいてはBENZ独自通信のため診断できません。

1.2. 診断項目

本アプリケーションは「1.1.対象車種」に記載する条件を満たす車両に対して、以下の診断機能をサポートしています。

診断機能	診断システム						参照項
	エンジン	ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝ	ﾌﾞﾚｰｷｼｽﾃﾑ	エアバッグ	エアコン	ｻｰﾋﾞｽｼｽﾃﾑ	
ダイアグコードの点検	○	○	○	○	○	○	3.12
現在のデータ表示／保存	○	○	○	○	○	○	3.13
アクティブテスト機能	○	○	○		○		3.14
制御ユニットバージョン	○	○	○	○	○	○	3.15
リセット機能						○	3.16
作業サポート			○				3.17

1.3. 使用言語

本アプリケーションは、日本語のみを対象としています。

2 準備

2.1. 接続

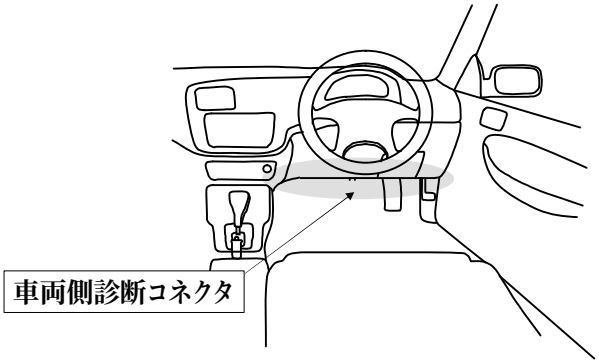
(1)診断車両が対象車種（「1.1.対象車種」参照）であることを確認してください。

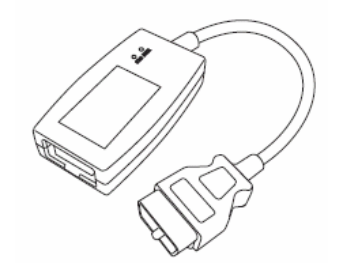
注意	対象車種以外の車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。

(2)診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。
(3)診断機にダイアグケーブルを接続してください。
(4)ダイアグケーブルに欧州車専用変換ケーブル（EU_CABLE-01）（※1）を接続してください。
(5)車両のイグニションスイッチがOFFであることを確認し、下図に示す箇所または整備マニュアルを参考にして診断コネクタに欧州車専用変換ケーブルを接続してください。（※2）

（※1）欧州車専用変換ケーブルは、別売りの欧州車診断セット（品名コード：51405200）に同梱されています。

（※2）詳しい接続方法は、欧州車診断セットに同梱されている取扱説明書をご覧ください。




欧州車専用変換ケーブル

(6)車両のイグニッションスイッチをONにします。

2.2. 各種設定

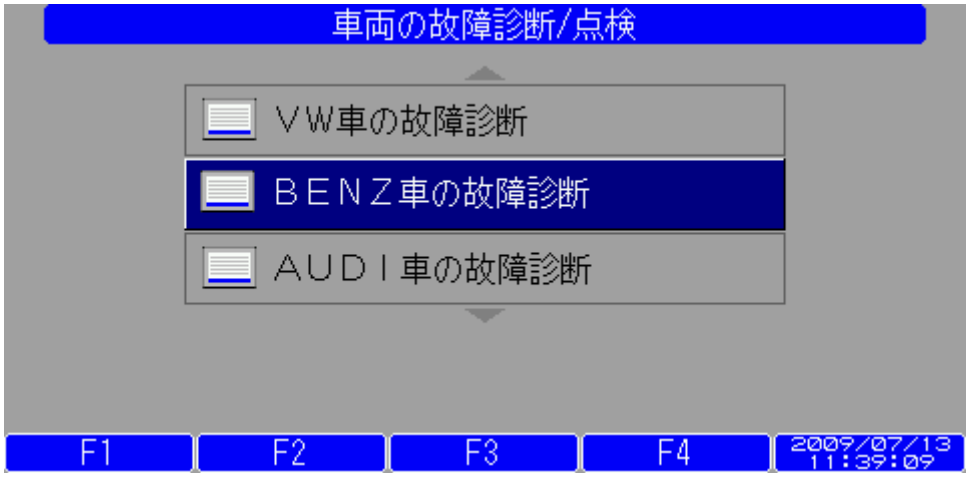
故障診断を実行する前に「ダイアグモニタメニュー」より「ダイアグモニタの設定」を実行して、以下の項目を設定してください。設定方法等に関しては、診断機本体の取扱説明書をご参照ください。

項目	設定内容
日付･時刻の設定	日付･時刻が違っている場合は正しく設定しなおしてください。
キープッシュ音	キーを押した時のプッシュ音を設定してください。
単位の設定	国際単位系であるSI単位に設定してください。 [SI単位] 速度　km/h 温度　℃ 圧力　kPa 空気流量　g/s

3　操作

3.1.　車両故障診断/点検メニュー

「ダイアグモニタメニュー」で「車両故障診断/点検をする」をYESで選択すると、車両故障診断メニューを表示します。

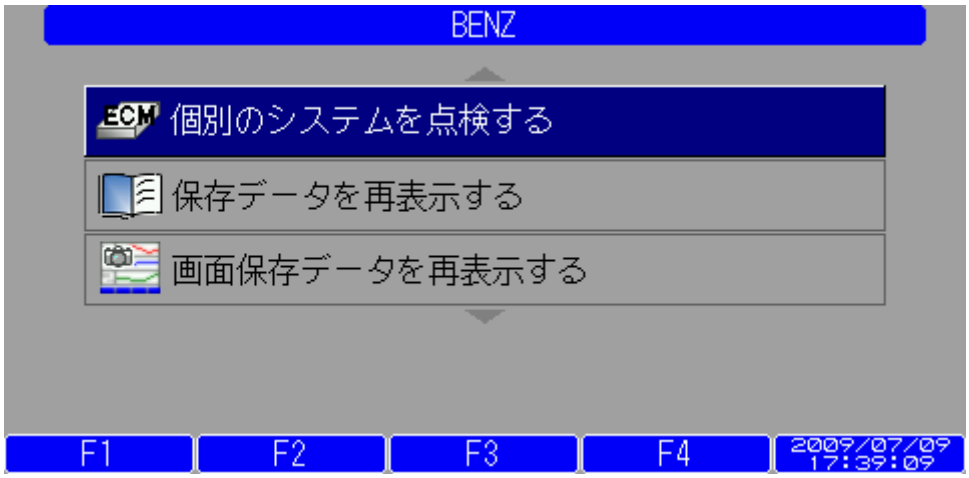


このメニューで「BENZ車の故障診断」をYESで選択してください。

「BENZ車の故障診断」を選択すると「アプリケーションロード中... しばらくお待ちください」と表示されます。CFカード内のアプリケーションを実行する準備を行なっていますので、電源を切らずに数秒間お待ちください。

3.2.　BENZ車の故障診断メニュー

テスト操作は2004年のE200 Kompressor（車台番号：WDB2110421A057059）を例として以下説明します。
車種E200 Kompressorの場合、E-CLASSに属することが分かります。また、車台番号：WDB211042 1A057059の211042からシャーシは211.042であることが分かります。



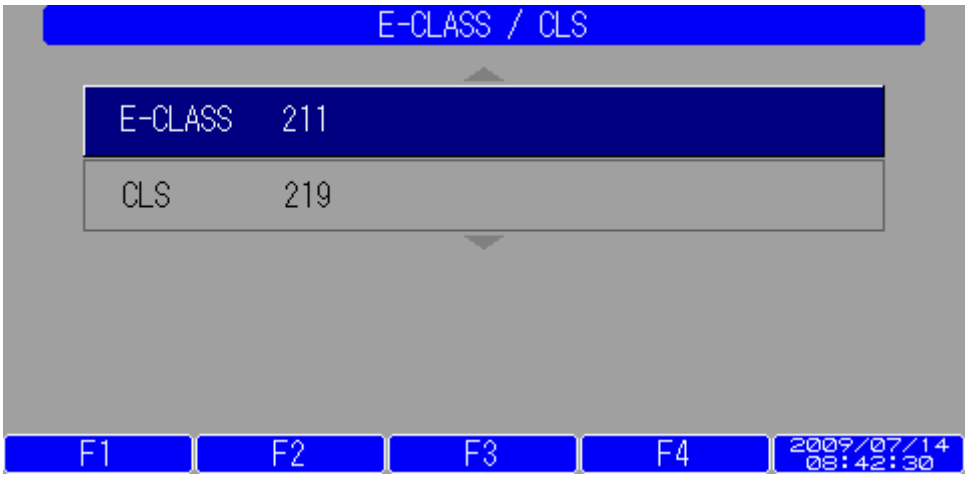
メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
個別のシステムを点検する	「3.3.テスト車種選択メニュー」
保存データを再表示する	「3.18.保存データの表示」
画面保存データを再表示する	「3.19.画面保存データの表示」

3.3. テスト車種選択メニュー

車種はE-CLASSのため、「E-CLASS / CLS」を選択し、YESキーを押します。

3.4. シャーシ

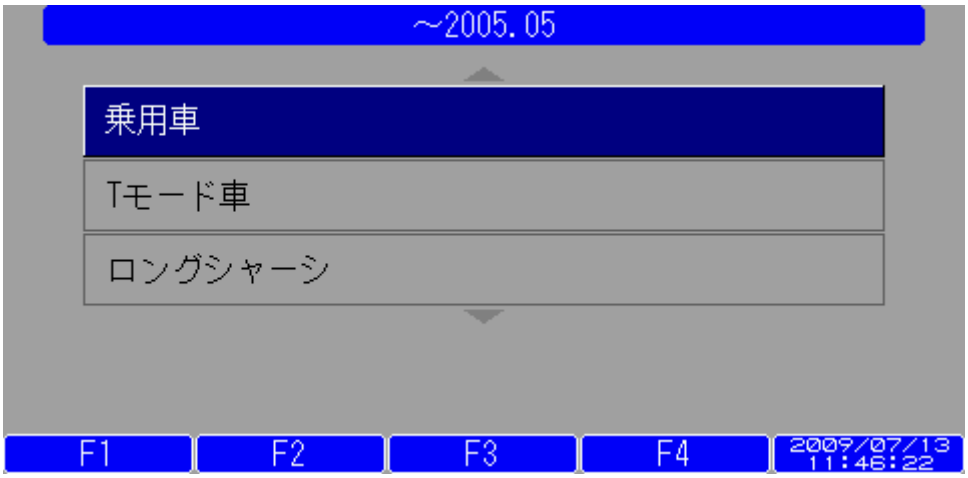


車台番号:WDB211042**1**A057059中の211042からシャーシは211.042であるため、「E-CLASS　211」を選択し、YESキーを押します。

3.5. 製造年月日

車検証などにより製造年月を確認し、2004年の場合、「～2005.05」を選択し、YESキーを押します。

3.6. 車種選択



シャーシ番号の数字(XXX.XXX)によって、車体タイプを選択します。

- 0 ： 乗用車
- 2 ： Tモード車
- 6 ： ロングシャーシ

車台番号:WDB2110421A057059からシャーシ番号は、211.042であることが分かるため、「乗用車」を選択し、YESキーを押してください。

3.7. フューエルの種類選択

当該車はガソリンエンジン搭載のため、「ガソリンエンジン」を選択し、YESキーを押してください。

3.8. 車種選択

車種E200 Kompressorと車台番号:WDB2110421A057059から、「211.042 E 200 Kompressor」を選択し、YESキーを押してください。

3.9. システム選択メニュー

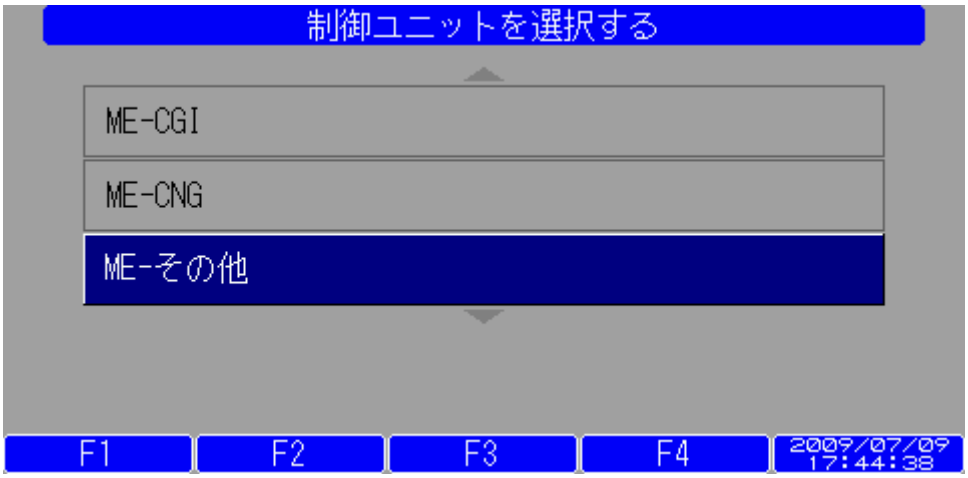
故障診断を行なうシステムをYESで選択してください。

選択するシステムにおいて、多種類の装備タイプがある場合、「3.10.制御ユニットを選択する」を表示します。
それ以外の場合、システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両のシステムと初期化通信を行ないます。選択したシステムと初期化通信に成功した場合、「3.11.故障診断メニュー」を表示します。

初期化通信でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

① 故障診断コネクタの接触不良。
② ダイアグケーブルの故障/断線/接続不良。
③ 欧州車専用変換ケーブルの故障/断線/接続不良。
④ 対象車種の確認。
⑤ イグニッションスイッチONの確認。

3.10. 制御ユニットを選択する



対象車両の装備状況により、適切な項目を選択してください。

システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両のシステムと初期化通信を行ないます。

選択したシステムと初期化通信に成功した場合、「3.11.故障診断メニュー」を表示します。

初期化通信でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

① 故障診断コネクタの接触不良。
② ダイアグケーブルの故障/断線/接続不良。
③ 欧州車専用変換ケーブルの故障/断線/接続不良。
④ 対象車種の確認。

3.11. 故障診断メニュー

故障診断メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

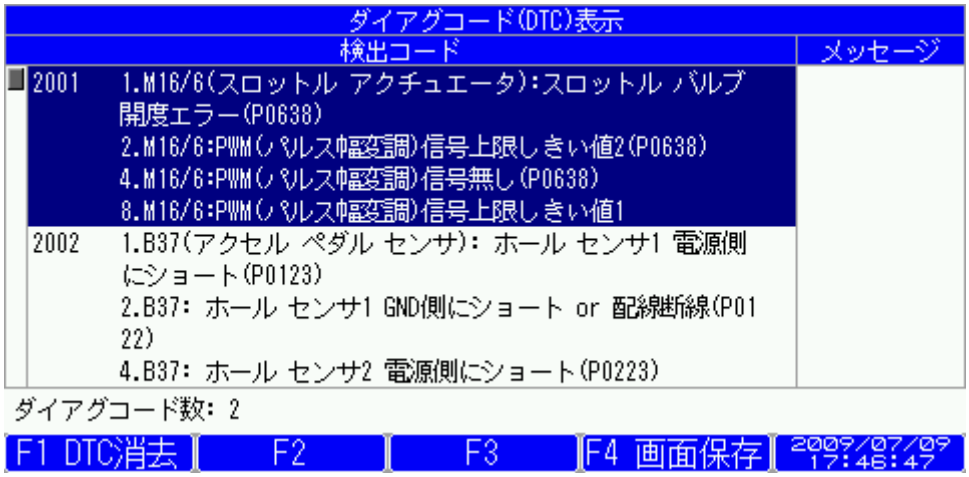
故障診断メニュー項目	参照項
ダイアグコードの点検	「3.12.ダイアグコードの点検」
現在のデータ表示／保存	「3.13.現在のデータ表示/保存」
アクティブテスト機能	「3.14.アクティブテスト機能」
制御ユニットバージョン	「3.15.制御ユニットバージョン」
リセット機能	「3.16.リセット機能」
作業サポート	「3.17.作業サポート」

3.12. ダイアグコードの点検

3.12.1. ダイアグコードの点検

車両が記憶しているダイアグコード(故障コード)を取得し表示します。

ダイアグコードが発生していない場合、「3.12.2.ダイアグコードなし」を表示します。



<操作方法>

↑/↓	すべてのコードが1画面で表示しきれない場合、画面のスクロールをします。
C	「3.11.故障診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

F1 DTC消去	「3.12.3.ダイアグコードのクリア」
F4 画面保存	画面のハードコピーを保存します。

※取得されたダイアグコードによっては、補足説明がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「定義不明。BENZ社発行の整備要領書をご参照下さい」と表示されますので、カーメーカーが発行した対象車両の整備要領書を参照してください。

3.12.2. ダイアグコードなし

診断コードが存在しない場合には、以下の画面を表示します。

<操作方法>

YES	継続

<操作方法>

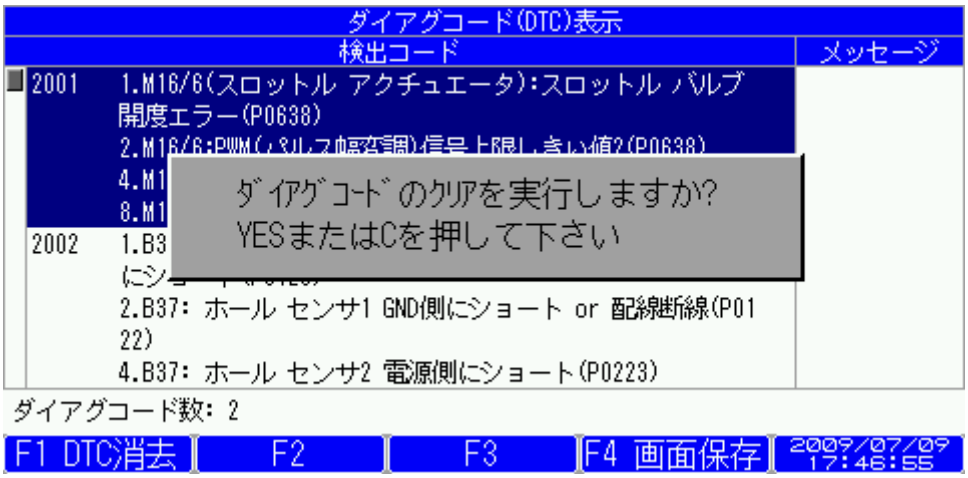
C	「3.11.故障診断メニュー」に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

F1 DTC消去	「3.12.3.ダイアグコードのクリア」を実行します。
F4 画面保存	画面のハードコピーを保存します。

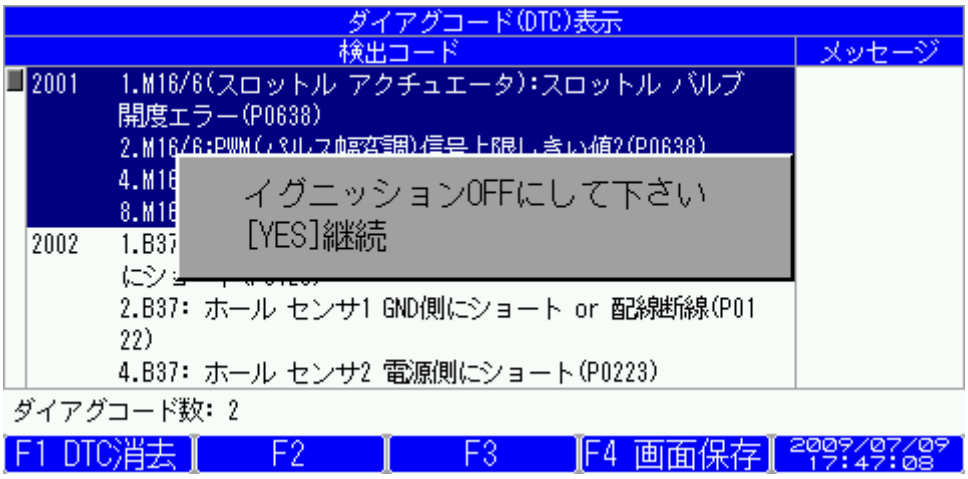
3.12.3. ダイアグコードのクリア

車両に記憶されているダイアグコードをクリアします。



<操作方法>

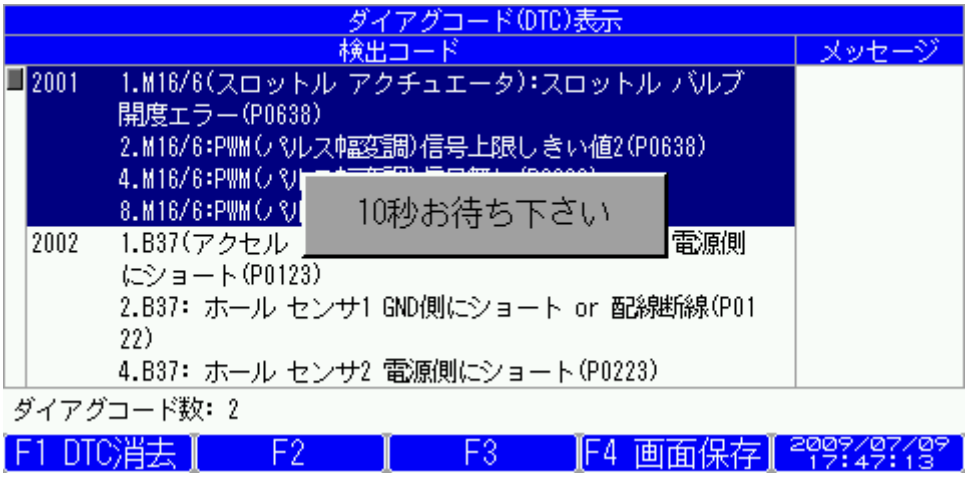
YES	ダイアグコードのクリアを実行します。
C	処理を中止し「3.12.1.ダイアグコードの点検」に戻ります。



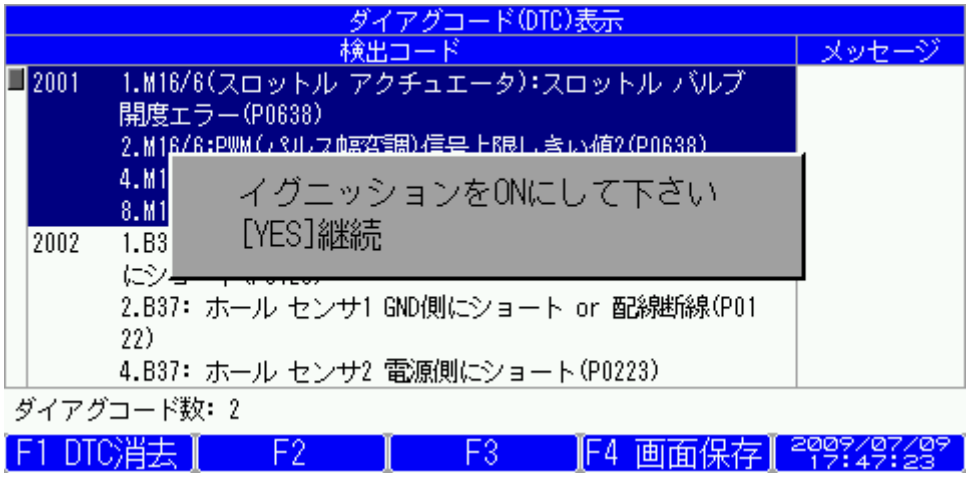
メッセージに従って、イグニションスイッチをOFFにした後、YESを押してください。

<操作方法>

YES	ダイアグコードのクリアの実行を継続します。



イグニッションスイッチをOFF後、10秒お待ちください。



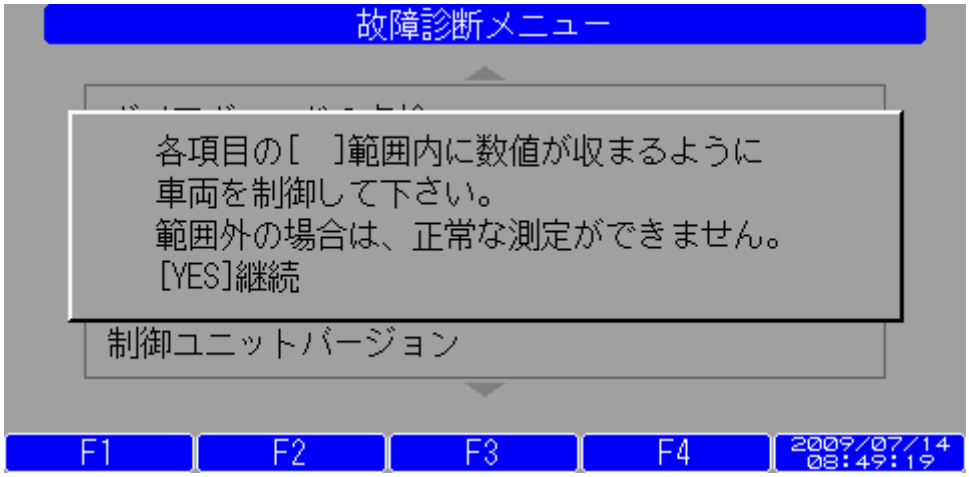
イグニションスイッチをONした後に、YESを押してください。再度車両と初期化通信を実施し、ダイアグコードのクリアが完了します。

<操作方法>

YES	「3.12.1.ダイアグコードの点検」に戻る。

3.13. 現在のデータ表示／保存

3.13.1. メッセージの表示



現在データの表示において、一部の項目に[ ]内に数値が記載されている場合は、その数値に収まるように車両を制御することにより、関連するデータ項目の診断数値の信憑性を向上させることができます。

<操作方法>

YES	「3.13.2. テスト項目の選択」を表示します。

3.13.2. テスト項目の選択

<操作方法>

↑/↓	すべてのテスト項目が1画面で表示できない場合、画面をスクロールします。
YES	「3.13.3.現在のデータ表示／保存」を実行します。
C	「3.11.故障診断メニュー」に戻ります。

3.13.3. 現在のデータ表示／保存

データ表示には、下図のように数値データ表示、グラフ1表示およびグラフ2表示の3種類の表示形式があります。

数値データ表示	
グラフ1表示	
グラフ2表示	

また、データ表示には、「ランモード」、「ホールドモード」の2つの表示モードがあります。

ランモード	車両よりリアルタイムに取得したデータを表示するモードです。 操作方法に関しては「3.13.4.ランモード」をご参照ください。
ホールドモード	ランモードによって取得し記憶されたデータを以前にさかのぼって表示することができるモードです。 操作方法に関しては「3.13.5.ホールドモード」をご参照ください。

3.13.4. ランモード

<操作方法>

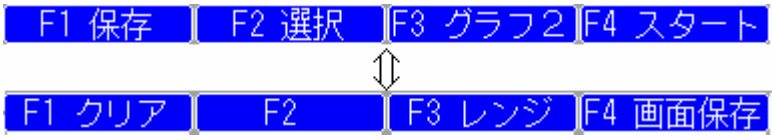
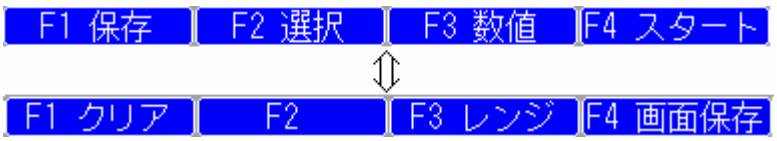
↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時 グラフ1表示時 グラフ2表示時
C	前の画面に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

F1	保存	ランモードで記憶されたデータを保存します。詳細は「3.13.8.データ保存」をご参照ください。
	クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
F2	選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
	トリガ	トリガ設定を実行します。詳細は「3.13.7.トリガ設定」をご参照ください。
F3	グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
	グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
	数値	数値データ表示に切り替えます。
	レンジ	グラフ表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「3.13.6.レンジ変更」をご参照ください。
F4	ホールド	ホールドモードに移行します。
	画面保存	画面のハードコピーを保存します。

3.13.5. ホールドモード

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←	前(過去)のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが左に移動します。
→	次のデータを表示します。 グラフ表示の場合、グラフカーソルが右に移動します。
YES	選択の設定/解除を行ないます。
S	ファンクションキーの機能を示す表示が切り替わります。 数値データ表示時 グラフ1表示時  グラフ2表示時 
C	前の画面に戻ります。
F1～F4	次項の「ファンクションキー」をご参照ください。

<ファンクションキー>

F1	保存	現在ホールド中のデータを保存します。詳細は「3.13.8.データ保存」をご参照ください。
	クリア	現在選択中の項目をすべて選択解除にします。
F2	選択	YESで選択され「*」が付けられた項目のみに絞り込んで表示します。
F3	グラフ	グラフ1表示に切り替えます。
	グラフ2	グラフ2表示に切り替えます。
	数値	数値データ表示に切り替えます。
	レンジ	グラフ表示時、レンジの変更が可能となります。操作方法に関しては「3.13.6.レンジ変更」をご参照ください。
F4	スタート	ランモードに移行します。
	画面保存	画面のハードコピーを保存します。

3.13.6. レンジ変更

グラフ表示時、ファンクション「レンジ」を実行すると、時間軸を変更することができます。

<操作方法>

←/→	レンジの変更を行ないます。
F3	変更したレンジを確定し、ランモードを実行します。
YES	変更したレンジを確定し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。
C	レンジ変更を中止し、「レンジ」が実行されたモードを再実行します。

3.13.7. トリガ設定

データ表示では、ランモード時「エンジン回転速度が何回転以上になった時」(レベルﾄﾘｶﾞ)や、「何らかの故障コードが発生した時」(コードﾄﾘｶﾞ)等の条件で自動的にデータをホールドすることができます。

ﾄﾘｶﾞを設定するには、数値データ表示もしくはグラフ表示でファンクション「ﾄﾘｶﾞ」を実行してください。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
←/→	設定の変更を行ないます。
YES	設定したﾄﾘｶﾞを確定し、「ﾄﾘｶﾞ」が実行されたモードを再実行します。
C	ﾄﾘｶﾞ設定を中止し、「ﾄﾘｶﾞ」が実行されたモードを再実行します。

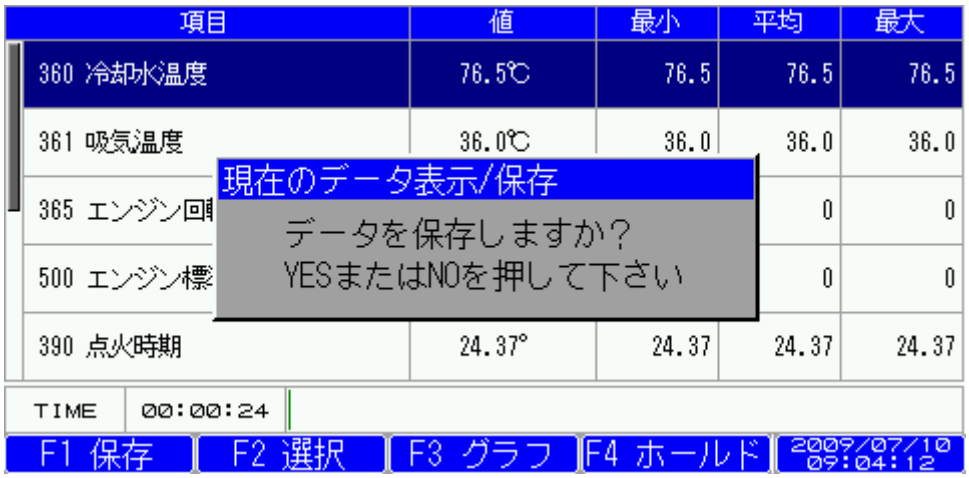
<ﾄﾘｶﾞ設定値>

ﾄﾘｶﾞ	OFF	ﾄﾘｶﾞの設定を解除します。
	コード	コードﾄﾘｶﾞ。故障コード数に変化があった場合にﾄﾘｶﾞとします。
	レベル	レベルﾄﾘｶﾞ。「項目」の値が「レベル」を「スロープ条件」でまたいだ際にﾄﾘｶﾞとします。
項目	レベルﾄﾘｶﾞの対象となる項目を選択します。 ランモード時画面に表示されている項目と画面外で選択されている項目が選択できます。	
スロープ条件	↑	レベル値以下からレベル値を超えた場合にﾄﾘｶﾞとします。
	↓	レベル値以上からレベル値未満になった場合にﾄﾘｶﾞとします。
	↑/↓	レベル値をまたいだ場合すべてをﾄﾘｶﾞとします。
レベル	レベルﾄﾘｶﾞのレベル値を設定します。	
表示ポイント	1/5	ホールド時ﾄﾘｶﾞ点を画面上の時間軸1/5点にして表示します。
	2/5	ホールド時ﾄﾘｶﾞ点を画面上の時間軸2/5点にして表示します。
	3/5	ホールド時ﾄﾘｶﾞ点を画面上の時間軸3/5点にして表示します。
	4/5	ホールド時ﾄﾘｶﾞ点を画面上の時間軸4/5点にして表示します。
ホールド時間	0s	ﾄﾘｶﾞが発生したらすぐにホールドします。
	30s	ﾄﾘｶﾞが発生してから30秒後にホールドします。
	60s	ﾄﾘｶﾞが発生してから60秒後にホールドします。

3.13.8. データ保存

ランモードによって取得したデータを、CFカードのデータ保存エリアに保存することができます。保存されたデータはいつでも参照することができます。

＜データ保存確認画面＞



<操作方法>

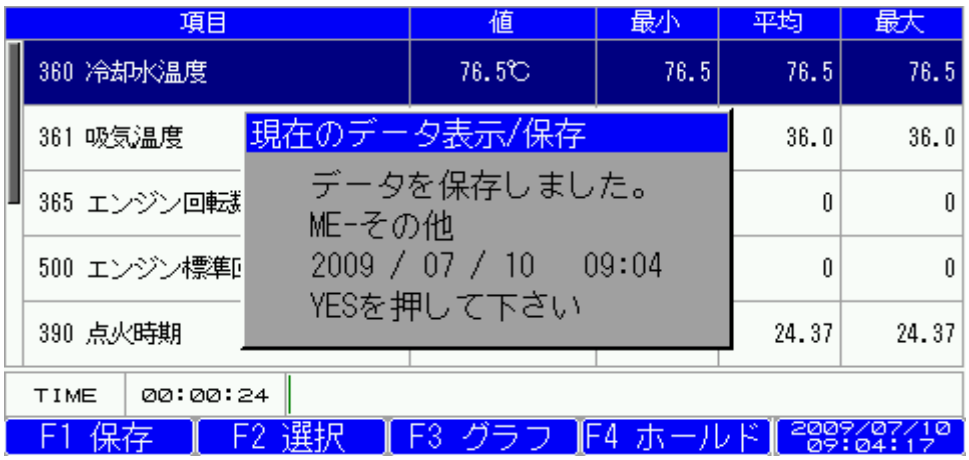
YES	データ保存を実行します。
NO	データ保存を中止し、「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

※　保存中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

※　保存データは画面上に表示されている項目のみ保存可能です。

データ保存が完了すると下記の確認メッセージが表示されます。

＜データ保存完了画面＞



<操作方法>

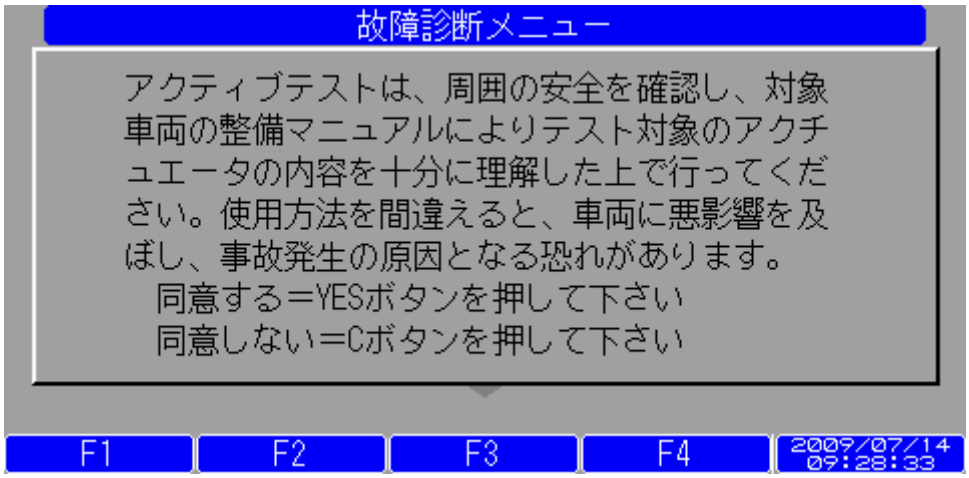
YES	「データ保存」が実行されたモードを再実行します。

3.14. アクティブテスト機能

本機能は、ダイアグコードの点検や現在のデータ表示などの診断結果に基づき、故障原因を追究するために活用する機能です。テスト対象アクチュエータを車両ECUの指令（出力）から切り離し、診断機から強制的に駆動することで、作動良否点検などを行ないます。

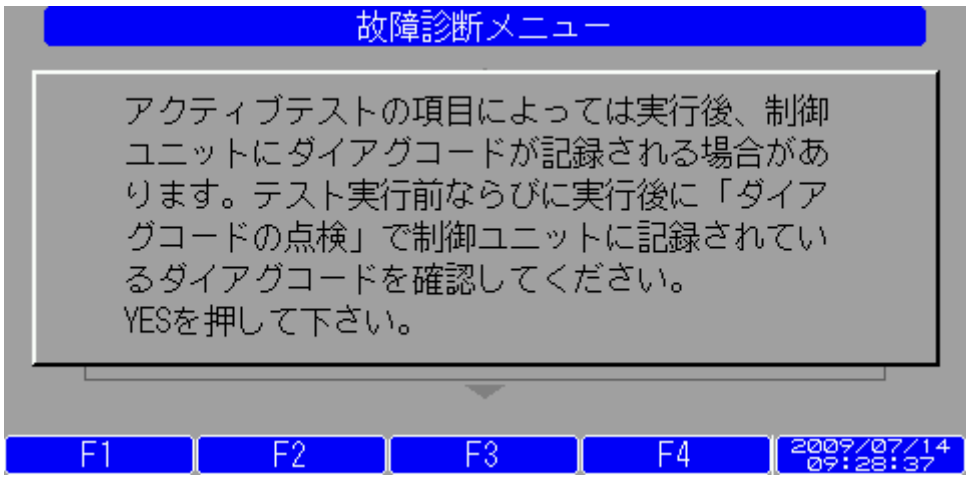
警告	アクティブテストは、対象車両の整備マニュアルによりテスト対象アクチュエータの内容を十分理解した上で行なってください。 使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。

アクティブテスト機能に入る前に、以下の注意画面が表示されます。



<操作方法>

YES	同意する。次画面を表示します。
C	同意しない。「3.11.故障診断メニュー」に戻ります。



<操作方法>

YES	「3.14.1.アクティブテストメニュー」を表示します。

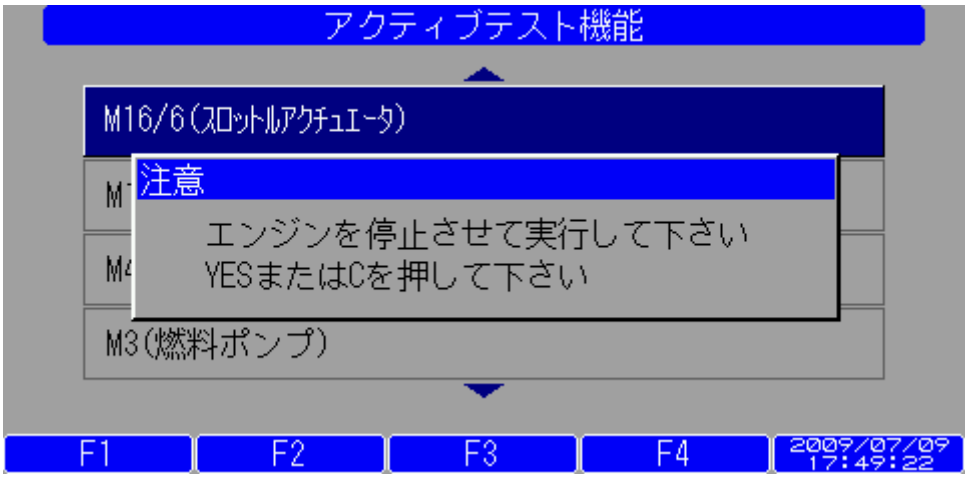
3.14.1. アクティブテストメニュー

診断車両がサポートしているテスト項目をメニュー表示します。本アプリケーションがサポートしているテスト項目は「4.アクティブテスト項目一覧」をご参照ください。

但し、アクティブテストメニューにテスト項目が表示されていても、実際に当該アクチュエータが車両に装着されていない場合は、アクティブテストは実行出来ません。

テストを行なう項目を選択し、YESを押してください。

3.14.2. テスト条件の表示

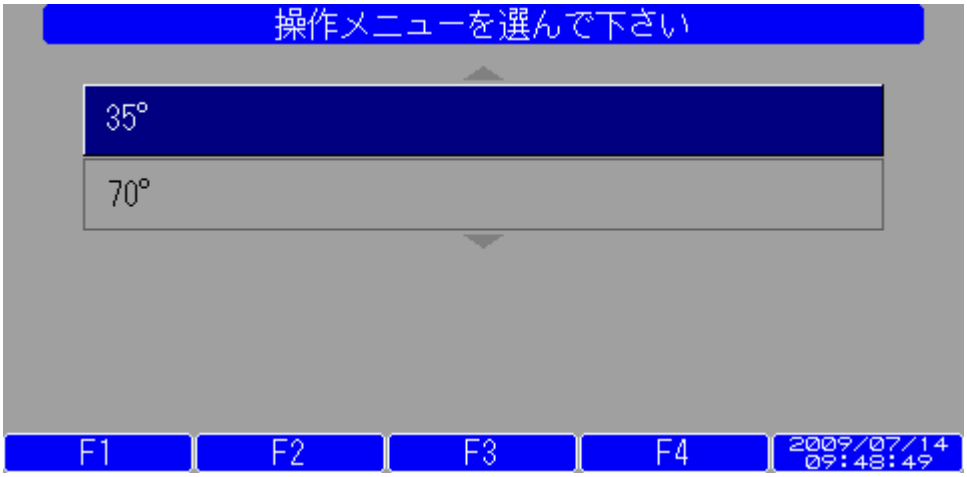


<操作方法>

YES	「3.14.3.操作メニューの選択」を表示します。
C	「3.14.1. アクティブテストメニュー」に戻ります。

3.14.3. 操作メニューの選択

選択したアクチュエータを駆動させるテスト値（目標値、状態）を選択する画面が表示されます。この画面で、選択したアクチュエータを駆動させるテスト値を選択してください。



<操作方法>

↑/↓	カーソルを上下に移動させます。
YES	「3.14.4.テスト実行」を実行します。
C	「3.14.1. アクティブテストメニュー」に戻ります。

3.14.4. テスト実行

実行できた場合は以下の画面を表示します。

<操作方法>

YES	「3.14.3.操作メニューの選択」に戻ります。

実行できなかった場合は以下の画面を表示します。

<操作方法>

YES	「3.14.3.操作メニューの選択」に戻ります。

3.15. 制御ユニットバージョン

通信を行なっているコントロールユニットの情報を表示します。

<操作方法>

F4	画面のハードコピーを保存します。
YES	「3.11.故障診断メニュー」に戻ります。

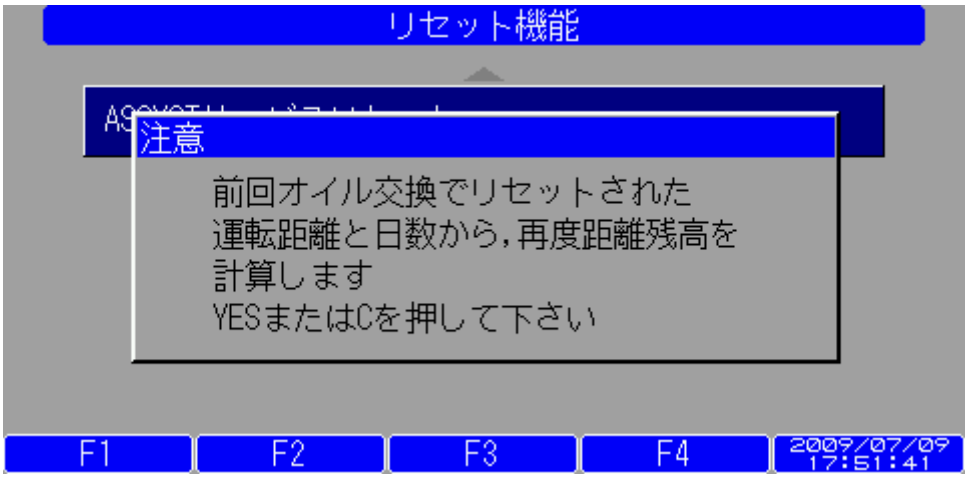
3.16. リセット機能

「ﾘｾｯﾄ機能」は主にメンテナンスに関するﾒｯｾｰｼﾞをゼロ（設定値）にすることに使われます。E-CLASS 211の場合、その機能は「アクティブサービスシステムASSYST」に属します。A-CLASS 168の場合、その機能は「KIW(ﾒﾝﾃﾅﾝｽ･ｲﾝｼﾞｹｰﾀ付ｸﾗｽﾀ)」に属します。以下はE-CLASS 211を例として説明します。

「アクティブサービスシステムASSYST」を選択し、「故障診断メニュー」に入ります。

「ﾘｾｯﾄ機能」を選択します。

「ASSYSTサービスリセット」を選択すると、以下の画面が表示されます。



<操作方法>

YES	「ASSYSTサービスリセット」を実行します。
C	操作をキャンセルします。

<操作方法>

YES	リセットが完了し、メニュー画面に戻ります。

(注意) 一部の車種は、リセット成功の後、エンジンをかけて数分間後に、パネルのメンテナンスメッセージがリセットされます。

3.17. 作業サポート

E-CLASS 211とCLS-CLASS 219のうち、製造年月が2006年6月以前の車両は、「電子感応ブレーキコントロールSBC」システムが装備されています。当該システムの修理作業を行う際に、「作業サポート」の操作が必要となります。

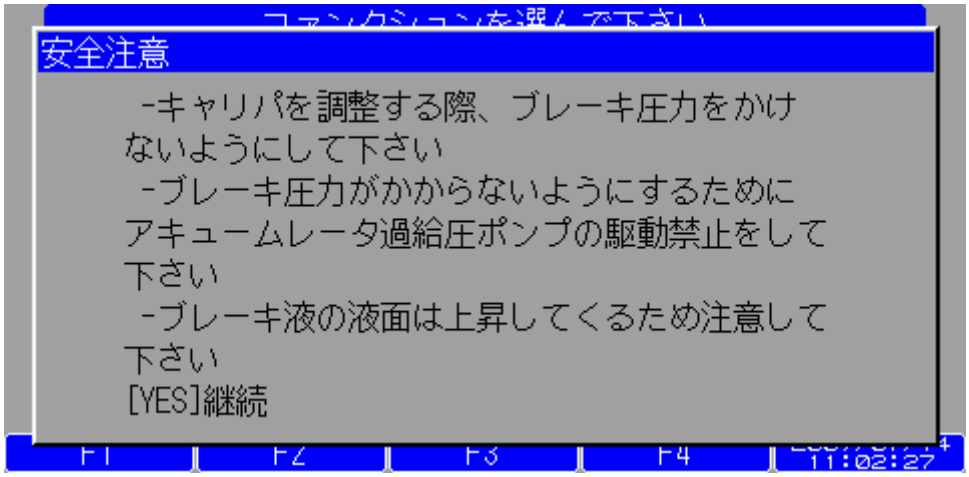
「電子感応ブレーキコントロールSBC」を選択し、「故障診断メニュー」に入ります。

「作業サポート」を選択します。

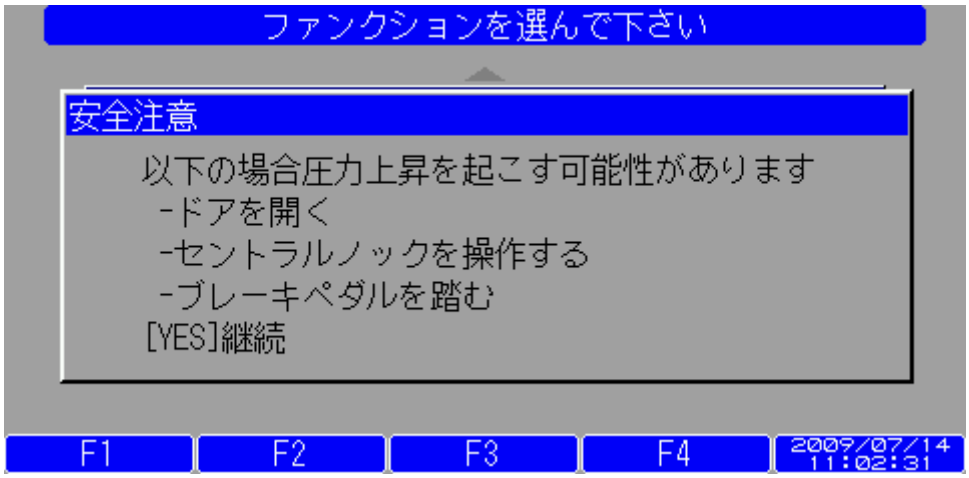
修理作業を始める前に電子感応ブレーキコントロールSBCの駆動を停止させます。詳細は、「3.17.1.SBCシステムOFF」を参照してください。また、修理作業が完成した後に再び電子感応ブレーキコントロールSBCを駆動します。詳細は、「3.17.2.SBCシステムON」を参照してください。

3.17.1. SBCシステムOFF

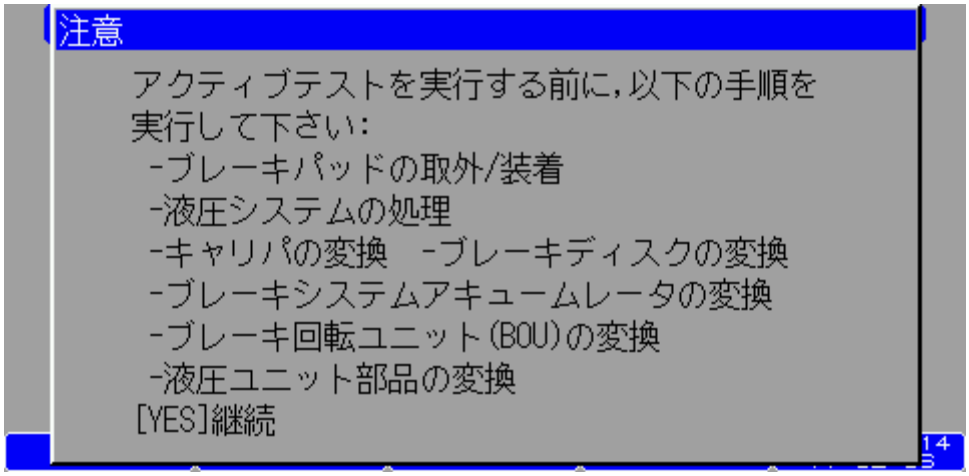
ブレーキパッドやブレーキフルード交換などの作業前に、当該操作をする必要があります。操作時に、安全注意および安全確認について、メッセージが表示されますので、内容をよくご確認ください。



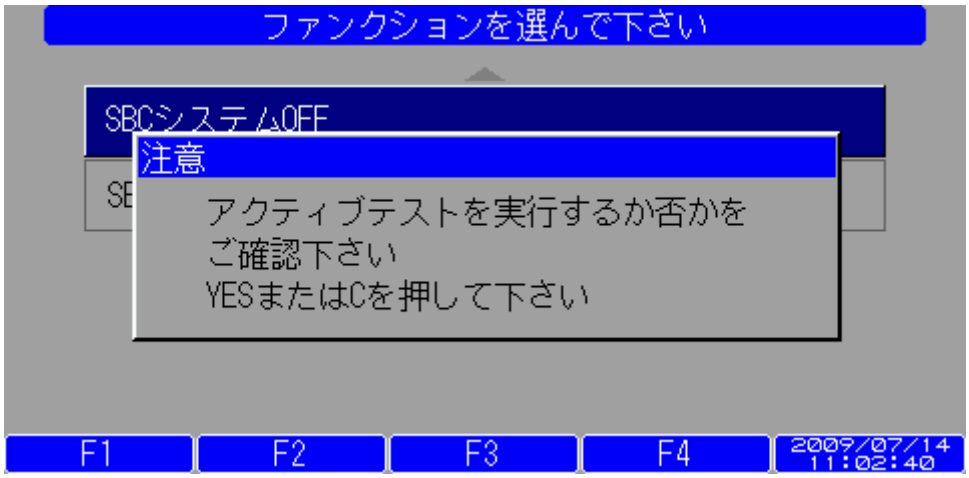
YESを押してください。



YESを押してください。

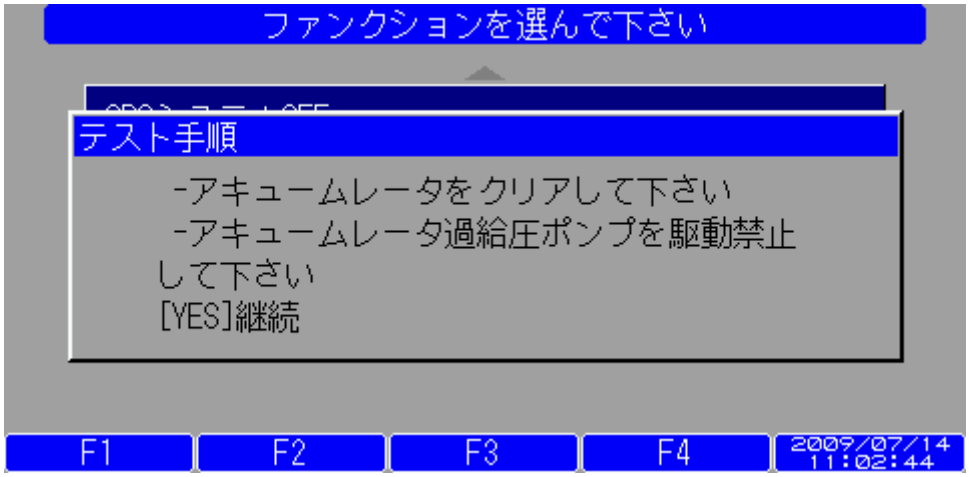


YESを押してください。



<操作方法>

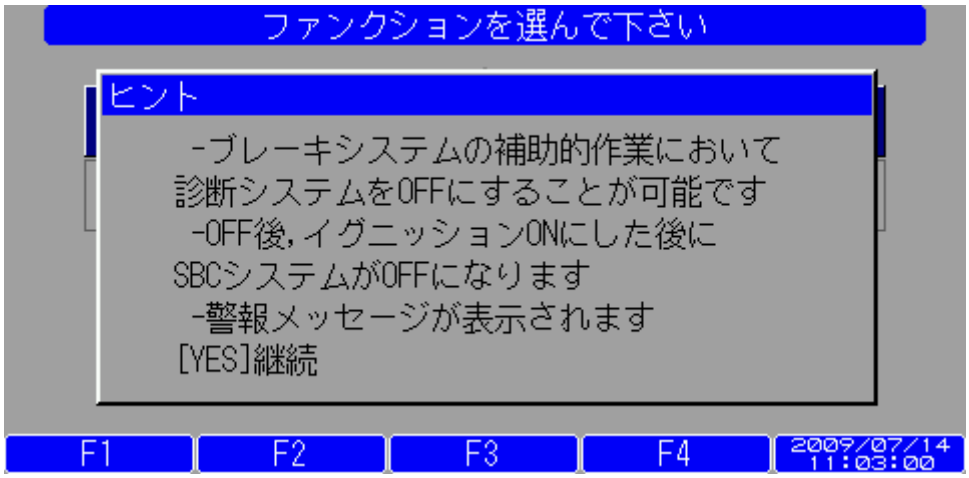
YES	「SBCシステムOFF」を実行します。
C	操作をキャンセルします。



YESを押してください。

YESを押してください。

YESを押してください。



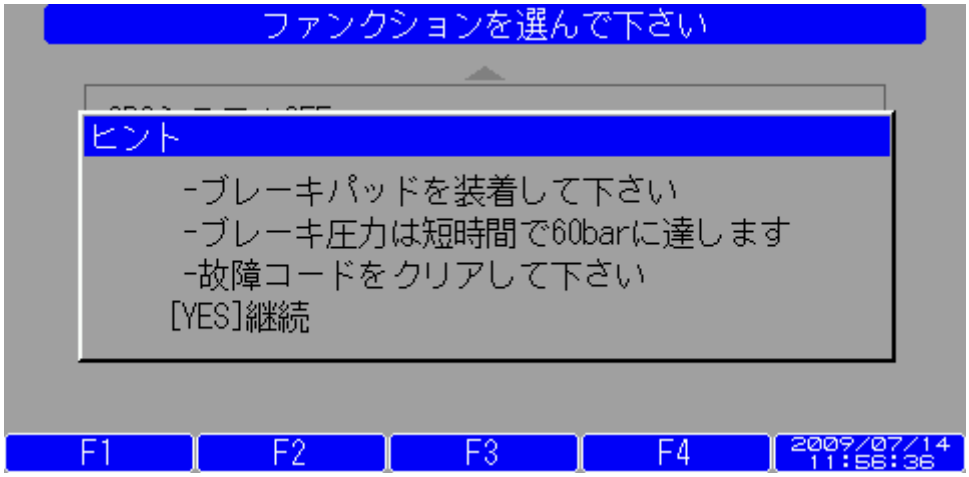
YESを押してください。

YESを押してください。

「SBCシステムOFF」の操作が完了しました。作業終了後に、「SBCシステムON」の操作を実行してください。

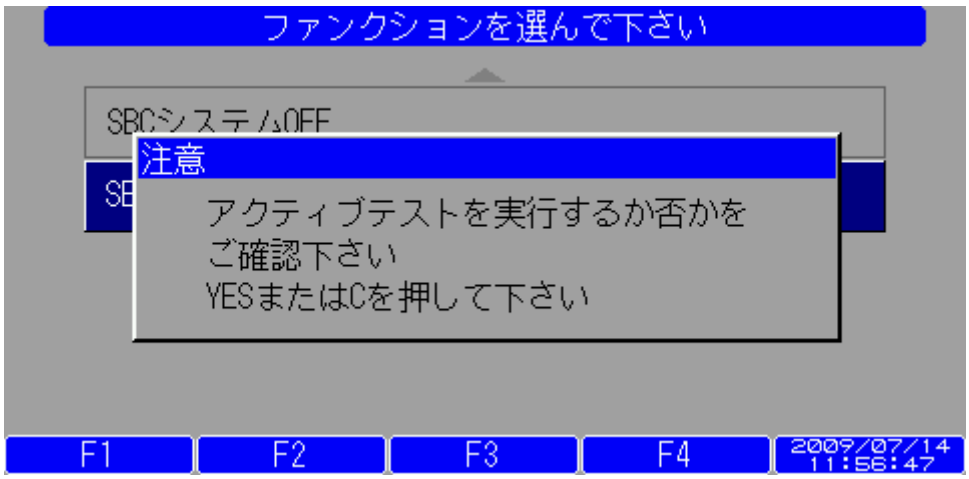
3.17.2. SBCシステムON

ブレーキパッドやブレーキフルードの交換などの作業が完了した後に、「SBCシステムON」の操作をしてください。SBCを稼動状態に戻すことができます。操作中、画面の指示に従い、フットブレーキを踏んでください。また、操作時に、安全注意および安全確認について、メッセージが表示されますので、内容をよくご確認ください。



YESを押してください。

YESを押してください。



<操作方法>

YES	「SBCシステムON」を実行します。
C	操作をキャンセルします。

YESを押してください。

上記画面が表示された後、フットブレーキを踏み、4つのブレーキ圧力センサが50bar以上を検知した場合、「3.17.2.1SBCシステムON正常」を表示します。

もしフットブレーキを踏んでいない或は操作不良により、4つのブレーキ圧力センサが50bar以下を検知した場合、「3.17.2.2SBCシステムON不正常」を表示します。

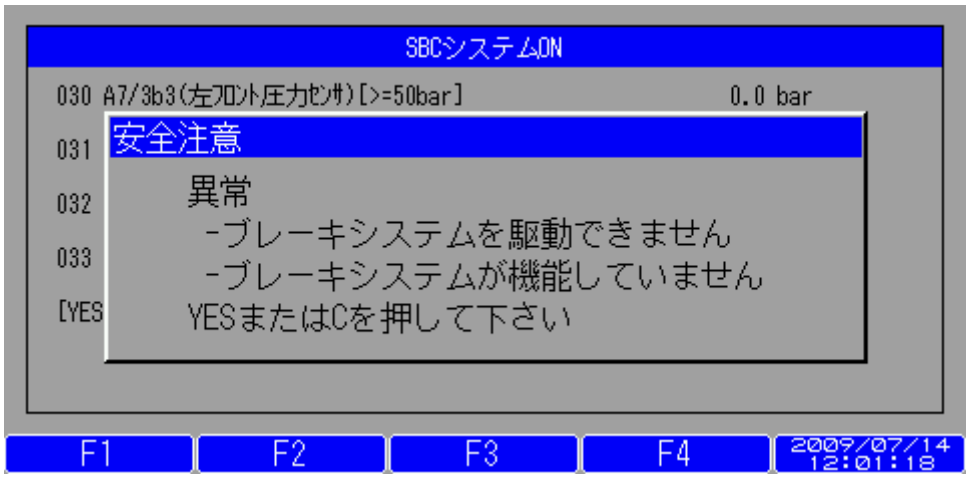
3.17.2.1. SBCシステムON正常

4つのブレーキ圧力センサが、50bar以上を検知したことを確認して、YESを押してください。

「SBCシステムON」の駆動可能となり、SBCシステムが稼動状態に入ったことを表します。YESを押してください。

3.17.2.2. SBCシステムON不正常

4つのブレーキ圧力センサが、50bar以下を検知した場合、上記画面が表示されます。



YESキーもしくはCキーを押して、「SBCシステムON」の操作を一時停止させてください。4つのブレーキ圧力センサが50bar以上を検知するようにフットブレーキを操作してください。完了したら、YESを押してください

「SBCシステムON」の操作が不正常、SBCシステムが稼動状態に戻っていない場合は、下記画面が表示されます。

3.18. 保存データの表示

選択したデータモニタ項目の保存データを表示します。
保存データがない場合、「保存データがありません」を表示します。

※　日付の新しい保存データから順に上から表示されます。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の保存データを読込み、「3.13.5.ホールドモード」へ移行します。 但し、保存データ表示時は「保存」「ﾄﾘｶﾞ」「ｽﾀｰﾄ」機能が実行できません。
C	保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。
F2	カーソル上のデータを削除します。

※　削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

3.19. 画面保存データの表示

画面保存によって保存された画面のハードコピーデータを再度表示する場合に実行します。

※日付の新しい画面保存データから順に上から表示されます。

<操作方法>

↑/↓	カーソルの移動を行ないます。
YES	カーソル上の画面保存データを再表示します。 再表示後YESを押すと、この画面に戻ります。
C	保存データの選択を中止し前の画面に戻ります。
F2	カーソル上のデータを削除します。

※　削除中は絶対に電源を切らないでください。保存データエリアが破壊され、他の保存データが表示できなくなることがあります。

4 アクティブテスト項目一覧

4.1. ME-SFI-エンジン(ME-CGI)

E-CLASS 211とC-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	M16/6(ｽﾛｯﾄﾙｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
2	M16/7(内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
3	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		エンジンを停止させて実行してください。
4	M3(燃料ポンプ)		エンジン始動、備考:燃料ポンプOFF時、 エンジンは1分間の継続運転が可能。
5	インジェクタテスト	シリンダ1	① エンジン:アイドリング状態、冷却水温度:80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ1-4	① エンジン:アイドリング状態、冷却水温度:80℃以上。 ② [OFF]:噴射装置をOFFにします、液圧を維持します、エンジン回転数が低下します。
6	排気ガスフラップ		エンジンアイドル回転。

4.2. ME-SFI-エンジン(ME-その他)

E-CALSS 211とC-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	M16/6(ｽﾛｯﾄﾙｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
2	M16/7(内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
3	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		エンジンを停止させて実行してください。
4	M3(燃料ポンプ)		エンジンを始動してください。
5	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン:アイドリング状態、冷却水温度:80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	

4.3. K-KLA - オートエアコン(シートエリア制御有) (211_VZK)

E-CLASS 211とCLS 219の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	M2/8(左ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰ･ﾌﾗｯﾌﾟ･ｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
2	M2/9(右ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰ･ﾌﾗｯﾌﾟ･ｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
3	M2/10(左足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
4	M2/11(右足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
5	M2/12(左中部送風口ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
6	M2/13(右中部送風口ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
7	M2/5(外気導入と内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
8	A32m2(活性ｶｰﾎﾞﾝﾌｨﾙﾀﾌﾗｯﾌﾟ調整ﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
9	A32m1(ブロワモータ)	エンジンを停止させて実行してください。
10	吸気電動ファン	エンジンを始動してください。注意:ユニットを操作する際、人体又はモノに危険のないことを確認して実行ください。
11	コントロールパネル照明ライト	
12	LCDモニタ グラフ表示	
13	冷媒コンプレッサ	エンジンを始動してください。
14	車内温度センサブロワ	[ON]:1cm^2の紙を車内空気温度センサのグリル前に置き紙をグリルに貼り付けてください。

4.4. KLA - オートエアコン (211_KLA)

E-CLASS 211とCLS 219の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	M2/16(左右ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
2	M2/15(左右足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
3	M2/22(中部送風口ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
4	M2/5(外気導入と内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	エンジンを停止させて実行してください。
5	A32m1(ブロワモータ)	エンジンを停止させて実行してください。
6	吸気電動ファン	エンジンを始動してください、注意:ユニットを操作する際、人体又はモノに危険のないことを確認して実行ください。
7	コントロールパネル照明ライト	
8	冷媒コンプレッサ	エンジンを始動してください。
9	車内温度センサブロワ	[ON]:1cm^2の紙を車内空気温度センサのグリル前に置き紙をグリルに貼り付けてください。

4.5. ME9.7エンジン (ME9.7-M272)

E-CLASS 211とCLS 219及びC-CLASSの車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
2	M3(燃料ポンプ)		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。
3	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
4	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
5	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
6	Y110(3ディスク温度調整器)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
7	Y16/2(ヒータシステムチェックバルブ)		

4.6. ME9.7エンジン (ME9.7-M273 (6気筒))

E-CLASS211とCLS 219及びC-CLASSの車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
2	M3(燃料ポンプ)		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。
3	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
4	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
5	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
6	Y110(3ディスク温度調整器)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
7	Y16/2(ヒータシステムチェックバルブ)		

4.7. ME9.7エンジン (ME9.7-M273 (8気筒))

E-CLASS 211とCLS 219及びC-CLASSの車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
		シリンダ7	
		シリンダ8	
2	M3(燃料ポンプ)		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。
3	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
4	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
5	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
6	Y110(3ディスク温度調整器)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
7	Y16/2(ヒータシステムチェックバルブ)		

4.8. MED9.7エンジン

E-CLASS 211とCLS 219の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
2	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
3	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
4	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
5	Y16/2(ヒータシステムチェックバルブ)		
6	Y94(流量制御バルブ)		エンジン回転、冷却水温度>20°C、[ON]:レール圧力<6bar、流量レギュレータバルブ=0 ° KW；[OFF]:レール圧力>190bar、流量レギュレータバルブ=70-90 ° KW。
7	Y125(低温冷却ｼｽﾃﾑｶｯﾄｵﾌﾊﾞﾙﾌﾞ)		Y125(低温冷却ｼｽﾃﾑｶｯﾄｵﾌﾊﾞﾙﾌﾞ)ｶｯﾄｵﾌﾊﾞﾙﾌﾞ駆動を確認してください。

4.9. ME9.7(AMG)エンジン

E-CLASS 211とCLS 219の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
		シリンダ7	
		シリンダ8	
2	M3(右燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ)、M3/2(左燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ)		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上
3	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
4	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
5	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
6	Y16/2(ﾋｰﾀｼｽﾃﾑﾁｪｯｸﾊﾞﾙﾌﾞ)		
7	R48(ﾃﾞｭｱﾙﾁｯﾌﾟｻｰﾓｽﾀｯﾄ･ﾋｰﾀﾊﾟｰﾂ)		
8	M4/1(オイル冷却ファン)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。

4.10. MRM-エンジン制御ユニット (MSM2)

A-CLASS 168の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80°C以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
2	Y58/1(パージコントロールバルブ)		[開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
3	M4/3(ﾓｰﾀ/ｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。

4.11. TAU - 自動温度調整装置(A168_TAU)

A-CLASS 168の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	冷媒コンプレッサ		① エンジンをかけて、ブロワをONにする。 ② 冷媒が不足している場合、 冷媒コンプレッサを制御できません。
2	外気導入と内気循環フラップ		① エンジンをかけて、ブロワをONにする。 ② ブロワ駆動を確認してください。
3	混合エアフラップ		エンジンをかけて、ブロワをONにする。
4	吸気電動ファン		エンジンをかけて、ブロワをONにする。

4.12. HAU - 暖房のみ(A168_HAU)

A-CLASS 168の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	外気導入と内気循環フラップ		① エンジンをかけて、ブロワをONにする。 ② ブロワ駆動を確認してください。
2	PTC補助ヒータ	加熱パーツ1	エンジンをかけて、ブロワをONにする。
		加熱パーツ2	
		加熱パーツ3	
		加熱パーツ4	
		加熱パーツ5	
3	PTC許可		加熱パーツが正常であることを確認してください。

4.13. ME-SFI-エンジン(SIM266+SIM266RSG)

A-CLASS 169の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	M3(燃料ポンプ)		エンジンを始動してください。
2	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		エンジンを停止させて実行してください。
3	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		エンジンを停止させて実行してください。
4	Y58/1(パージコントロールバルブ)		
5	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
6	アイドル・アジャスター		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。

4.14. ME-SFI-エンジン(SIM4)

C-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	M16/6(ｽﾛｯﾄﾙｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
2	M16/7(内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｱｸﾁｭｴｰﾀ)		エンジンを停止させて実行してください。
3	Y58/1(パージコントロールバルブ)		
4	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		エンジンを停止させて実行してください。
5	Y49(カムシャフト制御作動電磁鉄)		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。
6	M3(燃料ポンプ)		エンジンを始動してください。
7	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1 シリンダ2 シリンダ3 シリンダ4	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
8	二次エアバルブ		エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。

4.15. K-KLA - オートエアコン(シートエリア制御有)(203_KKLA)

C-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	M2/5(外気導入と内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	ブロワ駆動を確認してください。
2	M2/6(左混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60°C、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5°C(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50°C(180秒後)。
3	M2/7(右混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60°C、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5°C(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50°C(180秒後)。
4	M2/8(左ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰ・ﾌﾗｯﾌﾟ・ｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
5	M2/9(右ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰ・ﾌﾗｯﾌﾟ・ｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
6	M2/10(左足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
7	M2/11(右足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
8	M2/19(左側送風フラップサポートモータ)	
9	M2/20(右側送風フラップサポートモータ)	
10	M4/3(ﾓｰﾀ/ｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)	エンジンアイドル回転。
11	A32m2(活性ｶｰﾎﾞﾝﾌｨﾙﾀﾌﾗｯﾌﾟ調整ﾓｰﾀ)	
12	A32m1(ブロワモータ)	
13	昇圧ブロワ	昇圧ブロワが装着されているか確認ください。
14	A9(冷媒コンプレッサ)	エンジンアイドル回転。
15	コントロールパネル照明ライト	
16	車内温度センサブロワ	[ON]:1cm^2の紙を車内空気温度センサのグリル前に置き紙をグリルに貼り付けてください。

4.16. KLA - オートエアコン(203_KLA)

C-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	M2/5(外気導入と内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	ブロワ駆動を確認してください。
2	M2/6(左混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60°C、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5°C(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50°C(180秒後)。
3	M2/7(右混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60°C、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5°C(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50°C(180秒後)。
4	M2/15(左右足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
5	M2/16(左右ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
6	M2/21(送風フラップサポートモータ)	
7	A32m1(ブロワモータ)	
8	コントロールパネル照明ライト	
9	M4/3(ﾓｰﾀ/ｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)	エンジンアイドル回転。
10	A9(冷媒コンプレッサ)	エンジンアイドル回転。
11	車内温度センサブロワ	[ON]:1cm^2の紙を車内空気温度センサのグリル前に置き紙をグリルに貼り付けてください。

4.17. HAU - 暖房のみ(203_HAU)

C-CLASS 203の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	M2/5(外気導入と内気循環ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	ブロワ駆動を確認してください。
2	M2/6(左混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60℃、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5℃(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50℃(180秒後)。
3	M2/7(右混合ｴｱﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	① M13(クーラント循環ポンプ)正常、冷却水温度>60℃、エンジン始動、温度制御は加熱モード、中部の送風口をオープン。 ② [冷却]:エアコン温度はエバポレータの実際値より高く、最大5℃(60秒後); [加熱]:エアコン温度は少なくとも50℃(180秒後)。
4	M2/15(左右足元空間ﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
5	M2/16(左右ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰﾌﾗｯﾌﾟｻﾎﾟｰﾄﾓｰﾀ)	
6	M2/21(送風フラップサポートモータ)	
7	A32m1(ブロワモータ)	
8	コントロールパネル照明ライト	

4.18. ME2-SFI-エンジン(ME2.0)

S-CLASS 220の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン:アイドリング状態、冷却水温度:80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
		シリンダ7	
		シリンダ8	
2	Y58/1(パージコントロールバルブ)		[開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
3	Y31/1(EGR[排気ガス再循環装置])		エンジンを始動してください。
4	M4/3(ﾓｰﾀ/ｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		エンジン未回転、イグニッションスイッチON。
5	Y22/6(スイッチタイプ吸気管変換バルブ)		[ON]:吸気管で切替する真空パーツの動作を確認してください。

4.19. エアコン(KLA220)

S-CLASS 220の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目	テスト条件
1	ダブルバルブ	エンスト、冷却水温度>60℃、ブロワをONにする(2-3レンジ)、中部送風口をオープン、 [オープン]:暖房風が吹出します;[クローズ]:新鮮空気が吹出します。
2	ﾃﾞﾌﾛｽﾀｰｲﾝｼﾞｪｸﾀﾌﾗｯﾌﾟ	
3	足元空間フラップ	
4	外気導入と内気循環フラップ	
5	活性ｶｰﾎﾞﾝﾌｨﾙﾀﾌﾗｯﾌﾟ	
6	ブロワ	
7	操作ﾕﾆｯﾄと中部ｲﾝｼﾞｪｸﾀのﾗｲﾄ	
8	車内温度センサブロワ	[ON]:1cm^2の紙を車内空気温度センサのｸﾞﾘﾙ前に置き紙をグリルに貼り付けてください。
9	冷媒コンプレッサ	エンジンを始動してください。

4.20. ME-SFI2.7-エンジン

S-CLASS 220の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
		シリンダ7	
		シリンダ8	
		シリンダ9	
		シリンダ10	
		シリンダ11	
		シリンダ12	
2	Y49/1(左気筒列ｶﾑｼｬﾌﾄ調節ｿﾚﾉｲﾄﾞ)		
3	Y49/2(右気筒列ｶﾑｼｬﾌﾄ調節ｿﾚﾉｲﾄﾞ)		
4	Y58/1(パージコントロールバルブ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② [開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
5	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
6	Y93(排気ガスフラップ切替バルブ)		

4.21. ME-SFI2.7.1-エンジン

S-CLASS 220の車種に適用します。

No.	アクティブテスト項目		テスト条件
1	Y62(燃料ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾊﾞﾙﾌﾞ)	シリンダ1	① エンジン：アイドリング状態、冷却水温度：80℃以上。 ② OFFを選択すると、指定シリンダの燃料噴射が一時的に停止します。
		シリンダ2	
		シリンダ3	
		シリンダ4	
		シリンダ5	
		シリンダ6	
		シリンダ7	
		シリンダ8	
		シリンダ9	
		シリンダ10	
		シリンダ11	
		シリンダ12	
2	Y58/1(パージコントロールバルブ)		[開く] パージコントロールバルブが断続的に作動することを確認する。
3	M4/7(ｱｾﾝﾌﾞﾘ式ｺﾝﾄﾛｰﾗ付ｴﾝｼﾞﾝとｴｱｺﾝ吸気電動ﾌｧﾝ)		① エンジン未回転、イグニッションスイッチON。 ② パルス負荷係数によって吸気電動ファン回転を制御します。[10%]OFF、[90%]最大回転数。
4	Y101(分流空気切替バルブ)		
5	M44(増圧空気冷却循環ﾎﾟﾝﾌﾟ)		

■お問い合わせについて

この製品について不明な点がある場合や故障と思われる場合には、故障診断機キットに同梱されています故障診断機本体取扱説明書のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

BENZ車故障診断アプリケーション　Version 1.0

取扱説明書

2009年 8月　　初版発行

本書の内容の一部、または全部を販売元の許可なく複写、複製、転載することを禁じます。